信長探訪倶楽部９月行事
７月、８月は時間が取れなくて倶楽部行事が行えませんでした。
今回の行事は、６月記事で前ふりの通り小牧山城～犬山城への旅となります。

信長は他の戦国武将と異なる独創性、革新性をもつといわれていますが、そのひとつが「居城の前進移転」です。美濃攻めのために稲葉山城に近い小牧山に平山城を築きました。

小牧山城は、信長が初めて作った城で前進基地となるつくりで、大手道が直線的で守りに重きを置いていないのが特徴となっています。近年の調査で城前に１ｋｍ四方の本格的な街並みが形成されていたことが分かっています。尾張統一の妨げとなっていた犬山城の織田信清を攻めるためにも、小牧山城は役立ちました。

犬山城は、信長が美濃攻略を成し遂げて後は織田方の城として残り、小牧・長久手合戦の折には秀吉の陣地に、逆に小牧山城は家康の陣地として向かい合うことになったのです。

来月は、「美濃攻め」と題して、藤吉郎の墨俣城および稲葉山城改め岐阜城を探訪します。岐阜城では年々発掘が進められており、見学を楽しみにしております。同行したい方がみえましたら、連絡下さい。日程については、楠公民館入り口に貼り出します。ご覧下さい。

小牧市歴史館前の3人、約９０ｍの小牧山を登り、ほっとしたところ

小牧市歴史館展望室から、信長の気持ちになって目の前の金華山岐阜城を望む

国宝の犬山城に到着、先に訪れた清須城から本日の
小牧山城までと、ここ犬山城まではほぼ同じ距離に
あるという。犬山城、稲葉山城を攻めるため信長が
動いた気持ちがわかる？

本日は休日のため、思った以上の観光客、
城入口に人の波、20分待ち！

狭い階段をよじ登り、たどり着いた天守からの
眺め、木曽川鵜飼乗船場側を望む